



2020年5月26日

各 位

会 社 名 株式会社フジックス
 代 表 者 代表取締役社長 藤 井 一 郎
 本社所在地 京都市下京区室町通高辻上る山王町 569 番地
 上場取引所 東証第2部 コード番号 3600
 問 合 せ 先 専務取締役 山 本 和 良
 (電話番号) 075-744-0071

通期業績予想の修正及び特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年11月13日に公表いたしました2020年3月期通期業績予想を、下記の通り修正するとともに、特別損失(減損損失)を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2020年3月期通期連結業績予想の修正 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6, 261	99	169	92	67円09銭
今回修正予想 (B)	6, 050	42	121	△25	△18円39銭
増 減 額 (B) - (A)	△211	△56	△47	△117	
増 減 率 (%)	△3.4	△56.7	△28.2	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	6, 401	△42	30	△216	△157円25銭

(2) 修正の理由

売上高につきましては、昨春以降の販売価格の改正により、販売単価は上昇したものの、下期以降の消費税率改定や暖冬傾向が消費マインドを委縮させ、衣料品や手芸関連品の消費は低調となり、服飾材料である縫い糸の商況も一層厳しさが増すなど、予想以上に販売数量が落ち込んだこともあり、前回発表を若干下回る見込みとなりました。

利益面につきましても、減収の影響等により営業利益及び経常利益ともに前回発表を下回る見込みとなりました。また下記2.「減損損失の計上について」に記載のとおり、特別損失を計上することとなったため、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表を大幅に下回る見込みとなりました。

2. 減損損失の計上について

当社が保有する東京支店に係る固定資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、その回収可能性などを総合的に検討した結果、当第4四半期連結会計期間において、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、89百万円を減損損失として計上することといたしました。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があります。

以 上